

○青森森林管理署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和4年10月20日(木)に青森県外ヶ浜町の矢櫃山国有林で開催された「令和4年度 採材現地検討会」に、青森事務所から1名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や署管内の林業事業体など総勢36名の参加を得て開催され、今回はスギの採材について検討を行ったところです。青森森林管理署長の挨拶後、各地域における販売価格など東北の需要動向に関して青森事務所から説明、青森県森林組合連合会の担当者からは県内の木材市況や現在の需要動向、署の担当者から事業概要・採材指示内容の確認・生産事業地における広葉樹の取り扱い等について説明があり、その後、採材の検討に移りました。

4本のスギ全幹材について、署管内の事業体ほか4班に分かれて採材方法の検討を行いました。検討結果を各班の代表者が発表した際、青森県森連の担当者から木口の欠点について指摘いただいたのち、実際にハーベスタで切断してトビ腐れなど欠点の状態を確認。検討結果については、青森署案を示しつつ、節や曲りの状態など1本1本確認しながら意見交換が行われました。

最後に青森事務所から、スギ等針葉樹の一般材、合板材の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底、付加価値を高めるためヒバ大径木は4mの定尺にこだわらず出来るだけ長く採材して欲しいこと、作業日報の電子管理によってボトルネックの解消を行う「生産性向上の取組」に関して協力をお願いするとともに、労働災害の防止に努めるよう安全について講評させていただき、採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。



(スギの採材検討)



(ハーベスタで切断して欠点の有無を確認)